

安全衛生優良事業場に対する長崎労働局長表彰を行いました

長崎労働局（局長：瀧ヶ平 ひとし）は、10月18日（月）に令和3年度の「安全衛生にかかる優良事業場等に対する長崎労働局長表彰」の受賞者である事業場5社に対する表彰式を行いました。

本表彰は、安全衛生成績が優秀で他の模範と認められる優良事業場又は企業等に対し長崎労働局長が表彰を行い、その努力をたたえ、一層の安全衛生意識の高揚を図るものです。受賞者の表彰の理由、取組の内容については、別紙のとおりです。

令和3年度長崎労働局長安全衛生表彰受賞者

○優良賞（安全確保対策）

戸田・上滝・谷川・森美特定建設工事共同企業体

（工事名）長崎市交流拠点施設整備・運営事業MICE施設新築工事（15街区）

宅島・柴崎・松尾特定建設工事共同企業体

（工事名）雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事（建築主体工事）

○奨励賞（安全確保対策）

クアーズテック長崎株式会社

柴崎建設株式会社

株式会社日本冷熱 諫早工場



（写真左から瀧ヶ平労働局長、戸田建設(株) 岡山様、宅島建設(株) 川口様、クアーズテック長崎(株) 佐藤様、柴崎建設(株) 柴崎様、(株)日本冷熱 石川様、村木労働基準部長）

長崎労働局長表彰式のフォトレポート

【長崎労働局長あいさつ】



【表彰状の授与】

戸田建設(株) 岡山様



【表彰状の授与】

宅島建設(株) 川口様



【表彰状の授与】

クアーズテック長崎(株) 佐藤様



【表彰状の授与】

柴崎建設(株) 柴崎様



【表彰状の授与】

(株)日本冷熱 石川様



令和3年度 長崎労働局長 安全衛生表彰受賞者

長崎労働局長 優良賞 2社

受賞者名・所在地・業種	表 彰 の 理 由	賞の種別
とだ・じょうたき・たにがわ・もりみ 戸田・上滝・谷川・森美特定建設 工事共同企業体 （工事名）長崎市交流拠点施設整 備・運営事業M I C E施設新築工事 （15街区） （長崎市大黒町3-1長崎交通産業ビ ル5階） 業種：建築工事業	令和元年5月15日の着工から、令和3年7月31日の竣工に至るまで、約26か月（670,592時間）休業災害は発生していない。 店社の安全衛生管理実施計画書をもとに作成した現場の安全衛生管理計画を策定し、職長会や協力会等と通じて関係請負人と一体となった組織的な安全衛生活動を展開している。 当該安全衛生管理計画では、安全衛生方針、安全成績数値目標及び重点事項等が明確に示されている。 ICT（情報通信技術）建設機械の採用、高所作業から地上作業への積極的な転換等を行った結果、作業の省力化及び安全性の向上に繋がっている。 足場の組立て作業及び鉄骨建方作業等について、リスクアセスメントを活用した作業手順書により、作業開始前に災害防止を検討した後、周知会及び見直会によりフォローアップを行っている。	優良賞 （安全確保対策）
たくしま・しばさき・まつお 宅島・柴崎・松尾特定建設工事共同 企業体 （工事名）雲仙市新小浜体育館（仮 称）新築工事（建築主体工事） （雲仙市小浜町マリーナ3番地1） 業種：建築工事業	令和2年3月30日の工事着工以来、不慮災害を含め労働災害は発生していない。 リスクアセスメントについては、店社が所有する手順書を基に工事開始前に現場でのリスク評価を関係請負人の職長、安全担当者と共に協議し手順書を策定している。その後、入場者教育等の機会において関係者全員に教育を行い周知するとともに、リスク低減措置の実施漏れがないよう元方事業者において、実施事項の確認等を行っている。 現場には出入口のゲートや掲示板等各所に当日の主な作業及び作業場所、立入禁止等を記載した現場のレイアウト図を掲示し、また、立入禁止、安全通路及び資材置場等については、分かりやすく表示を行うとともに外国人技能実習生も入場していることから外国語表記も併記しており、さらに、重機については、取扱者や会社名、資格証など顔写真入りで貼り付けて分かりやすくするなど「見える化」が推進されている。 関係請負人の職長で組織する職長会パトロールや現場でのヒヤリハットについても積極的に提出させ、再発防止対策を検討しており、また、職長会の推薦に基づき安全表彰を実施するなど、関係請負人の労働者を含めた現場全体の安全衛生意識の高揚が図られている。 店社（外部）パト、女性社員による現場環境パトロールを実施している。 なお、令和2年度に「アクションZERO～長崎ゼロ災運動」に参加している。	優良賞 （安全確保対策）

長崎労働局長 奨励賞 3社

受賞者名・所在地・業種	表 彰 の 理 由	賞の種別
クアーズテック長崎株式会社 （東彼杵郡川棚町百津郷 296） 業種：ガラス製造業	日々の危険予知活動（ＫＹＫ）を実施している場に、事業主（社長）、部門長、安全担当が日替りで立会い、30 分間の危険予知トレーニング（ＫＹＴ）の実施及びＫＹＫ指導を実施している。 部門ごとの表彰制度を設けており、チームが一丸として安全衛生管理に取り組むスキームを作ることで、より一層の安全衛生意識の高揚を図っている。 安全衛生年間標語の募集と表彰を行っている。毎年 350 件以上の応募がされており、各労働者の安全衛生意識の高さが伺え、また、当該制度を形骸化させることなく持続的に実施している。 リスクアセスメント実施後、リスクが特に高いものについては、部門ごとにタスク管理し、週 1 回レビューを作成していること（「ハイリスクタスクレビュー」の実施）。また、レビューの作成にあたっては、他部署の労働者も参加させ、違った視点からリスク低減のための方法を取り入れるよう努めている。 なお、今年度から「アクションＺＥＲＯ～長崎ゼロ災運動」へ参加している。	奨励賞 （安全確保対策）
しばさき 柴崎建設株式会社 （雲仙市国見町土黒丙 434 番地） 業種：一般土木建築工事業	元請事業者として施工した建設現場においては、昭和 55 年の創業以来労働災害は発生していない。 当該事業場では、労働者数が 50 人未満でありながら、安全管理者、衛生管理者を配置し、社長をトップとした安全衛生管理体制が構築され、種々の安全衛生管理活動は、経営トップを中心として積極的かつ組織的な運営がなされている。 安全衛生管理については、年度当初に前年度の総括を踏まえた安全衛生管理計画を策定し、策定後は経営トップ自らが計画を説明し、周知を図るなど計画に沿った実施に努めている。 リスクアセスメントについても、店社においてリスクアセスメントを取り入れた標準的な作業手順書を整備し、施工前にリスクアセスメント総括表を作成し、低減対策を施工計画書、作業手順書、作業計画等どの段階で対策を講ずるか事前に検討し、さらに、当該内容を含め低減対策及び残留リスクは、関係請負人の新規入場時等において教育を行い、内容の徹底を図るほか、その状況を日々のＫＹ活動で徹底するとともに、現場責任者の巡視の際、随時確認を行っている。 安全衛生教育に関し、外部機関を積極的に活用するほか、事業場内においても労働者が持ち回りでテーマを決め勉強会を実施するなど労働者間相互のスキルアップに努めている。 なお、令和 2 年度より「アクションＺＥＲＯ～長崎ゼロ災運動」へ参加しており、同年度には 4 工事現場のうち 3 現場にて目標達成をした。今年度は 4 工事現場（9 月 8 日現在）で同運動への参加をしている。	奨励賞 （安全確保対策）

受賞者名・所在地・連絡先など	表 彰 の 理 由	賞の種別
株式会社^{にっぽんれいねっ}日本冷熱 諫早工場 （諫早市津久葉町 5 番地 72） 業種：その他の製造業	昭和 59 年 3 月に諫早工場を設立以降、37 年 4 か月（2,869,992 時間）労働災害（不休災害を含む。）が発生していない。 労働者数が 8 名であるが、安全衛生職務規定及び安全衛生規則を作成し、諫早工場として安全衛生管理体制を確立し、毎月の安全衛生委員会の開催、安全パトロールを行う等労働災害防止のための取り組みを積極的に推進している。 毎週、担当者を決めて週番日誌を作成し「安全運転の目標」を定めることにより通勤時を含めた交通事故防止に係る取り組みにより労働者の安全衛生意識の向上を図っている。 「リスクアセスメント危険予防活動」「ヒヤリハット報告活動」「危険の見える化」による災害防止活動を活発に行っている。 なお、今年度から「アクション Z E R O ～長崎ゼロ災運動」への参加をしている。	奨励賞 （安全確保対策）

（注 1）アクション ZERO ～長崎ゼロ災運動とは、長崎労働局独自の事業場参加型の災害防止運動で運動期間（令和 3 年度 7 月～12 月）中、労働災害ゼロを目指すものです。

（注 2）リスクアセスメントとは、労働安全衛生法第 28 条の 2 に規定されている事業者の行うべき調査等であり、職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去・低減するための手法をいいます。